



# 三星の風

## 第2号

平成18年6月1日  
鹿児島県立  
鹿屋高等学校

### 開校記念講演会

五月二日（火）吉元敦憲先生をお招きし  
ての開校記念講演会を催しました。「卒業  
生の人生」と題しての講演では、「ご自分の半  
生を振り返りつつ、経験や思い出についてお  
話になり、生徒の心に響き渡りました。

先生は現在大阪で、登記測量事務所を経営  
されています。昭和三十六年三月本校を卒業  
後、父の病気による経済面の厳しさから、  
大学の第二部に入学されました。どうしても  
学びたいという強い気持ちから昼間は働い  
て、生計を立てながら学資を稼ぎ、夜は大学  
で勉強するという生活を送られました。卒業  
後は企業に入社し、「ご自分の会社を設立され  
るまで転職も経験なさいました。

その中で「人に頼ることも必要だが、人に  
使われることなく、自分の力で生き抜くため  
にはどのようにしたらよいかということ」に  
ついて悩まれ、自分で会社を興したいと強く  
思うようになったこと。資格の必要性を悟り、  
懸命な努力で様々な資格試験に挑戦し、それ  
らを取得したこと。独立後も向上心が変わり  
はなく、周囲の信頼を勝ち取り、仕事量を増  
やし、経営が良いときも悪いときも常に自分  
を戒めることで、ここまでやってこられたこ  
とを淡々と話されました。最後に、昨今の格  
差社会において就職等、選択を迫られる際、  
将来を見据えて自分の生き方を選択して欲し  
い、と強く訴えられました。生徒たちは自分  
の可能性を早く見つけて、それを突き詰める

形で  
の人生設計の必要性を強く感じたよう  
でした。



講演される吉元敦憲先生

### PTA総会

五月十七日（水）のPTA総会が足もとの  
悪い中にもかかわらず、たくさん保護者が  
出席し行われました。予算やPTA会則改正、  
役員選出、本年度から二年間かけて行われる  
耐震工事の説明と、盛会のうちに幕をじま  
した。その後、学級PTA（二年生は学年P

PTAもあり、修学旅行の説明）がありました。  
新役員は、次の方々です。一年間よろしくお  
願います。

- |     |          |
|-----|----------|
| 会長  | 三嶋 晃     |
| 副会長 | 有木園 繁 樹  |
| 監事  | 同 太田 みどり |
| 同   | 同 川添 房子  |
| 同   | 同 末吉 俊一  |
| 同   | 同 永野 秀明  |
| 同   | 同 月精 清教  |
| 同   | 同 伊東 昭計  |
| 同   | 同 中山 昭郎  |
| 同   | 同 萩原 眞澄  |

新PTA役員の紹介



### 3年奉仕作業

五月十八日（木）中間審査終了後、恒例の



三年生による地域及び校内の清掃作業が行  
われました。当日は午前中、雨が降りまし  
たが、午後には晴れ、三年生全員が集合し、  
全体指導後、バスセンターから本校までの  
地域を五グループに分け、清掃・ゴミ拾い  
を約一時間かけて意欲的に行いました。沿  
道の方々からは、ねぎらいやほげましの言  
葉をいただき、地域社会  
の美化に努め  
る心を育てる  
という精神を  
培うことがで  
きました。

### 生徒総会



五月二十五日（木）鹿屋高校第百三十三  
回生徒総会が開催されました。

前年度の生徒会活動報告・決算報告・新  
年予算案審議に続き、学校に対する要望事  
項について話し合わせ、「地味な色の靴下  
の許可」と「学生カバンの使用の自由化」  
の二つの要請事項を学校側に提出すること  
となりました。

その後、行われた協議の中では、週番の  
目標を実行に移すには？と「自主規制の  
明確化」の二つの議題が採り上げられまし  
た。いずれの議題についても多くの生徒が  
積極的に発言し、これからの学校生活をよ  
りよいものにしていこうという熱意を感じ  
させるものとなりました。特筆すべきは、  
入学間もない一年生の中にも意見を発表す  
る生徒がみられたということです。

生徒会の意義は「生徒全員が主体的に参  
加すること」にあります。今回の総会にお  
いて、多くの生徒が学校のことを真剣に考  
えることができたのは、とても大きな収穫  
でした。

平成十七年度大会成績一覽

(県大会3位以上・九州大会・全国大会)  
空手道―県高校新人体育大会男子個人組手3位 九州高校総体出場男子個人

柔道―全九州高校柔道競技大会女子個人63kg級2位 九州国体出場少年女子(中堅) 県高校総合体育大会女子個人63kg級2位 県高校新人体育大会男子個人100kg超級3位

水泳―県高校新人体育大会男子総合3位 男子個人背泳ぎ50m1位・2位 同100m3位 同バタフライ50m3位 末弘杯全九州高校選手権大会出場男子5名女子1名 九州高校総体出場女子個人1名 男子1名

陸上―県高校新人体育大会男子3段跳び1位 全九州陸上競技大会男子3段跳び3位 九州新人大会男子団体出場男子個人3位

ソフトテニス―県高校新人体育大会男子団体優勝 男子個人1位・3位 県高校春季大会男子団体優勝・男子個人優勝 県高校総合体育大会男子個人優勝 九州高校総体出場男子個人 全国高校総体出場男子個人 国民体育大会出場男子2名 県知事杯男子個人優勝

ボート―県高校新人体育大会女子シングルスカル2位・3位 ダブルスカル1位 全国マシローイング大会女子個人1位・3位 県高校総合体育大会男子クオドルプル2位 男子ダブルスカル3位 女子クオドルプル2位 女子ダブルスカル1位 女子シングルスカル1位 九州高校総体出場男子クオドルプル 女子ダブルスカル 女子シングルスカル 全国高校総体出場 女子ダブルスカル 女子シングルスカル

ラグビー―九州大会出場(10人制の部)  
剣道―県高校総合体育大会男子団体3位 県高校総合体育大会男子個人最優秀選手  
放送―NHK杯全国高校放送コンテスト県大会創作テレビドラマ部門優良賞

吹奏楽―第七回瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクール銀賞  
美術―第十一回九州高文連美術・工芸書道写真展福岡大会優秀賞 第五十六回県高校美展奨励賞  
書道―県高校揮毫大会シンポジウム創作部門 高書研賞・優秀賞 第十四回国際高校生選抜書展団体全国優勝 個人文部科学大臣奨励賞1名 優秀賞1名 秀作賞1名 入選12名

平成十八年度地区大会等成績

(個人・団体三位まで掲載)

空手道―地区女子個人組手優勝

柔道―地区男子個人60kg優勝 同66kg優勝 同100kg超優勝

水泳―県春季個人50m平泳ぎ2位 同男子200m地区団体男子優勝 同女子2位

m平泳ぎ2位 同50m背泳3位

陸上―地区男女総合優勝 個人女子3000m優勝 同1500m優勝 同4000m優勝 同2000m優勝 同走り幅跳び優勝 同400mハードル優勝 同走り幅跳び優勝 同3段跳び優勝 女子400mリレー優勝 男400mリレー優勝

ソフトテニス―地区個人ダブルス優勝 平成17年度県ランキング優勝 第13回鹿児島市長杯準優勝 県高校春季大会団体優勝

ボート―第40回南日本レガッタ総合優勝 少年男子舵手付きクオドルプル3位 少年女子同3位 少年男子ダブルスカル1位 少年女子同1位 少年男子シングルスカル3位 地区女子シングルスカル優勝

剣道―地区男子団体優勝 同個人優勝

写真からみた鹿屋高校「今・昔」

第1回 正門の変遷

1948年(昭和28)頃の写真  
旧制中学校時代の校門をそのまま利用



1988年(昭和63)頃の写真  
昭和38年、創立40周年事業の一環として建設。



現在の正門  
2001年(平成13)3月完成。



6月の主な行事

- 一日(木)〜二日(金) 実力考査
- 十日(土)〜十一日(月) 進研模試(三年)
- 十二日(月)〜十六日(金) 教育相談
- 十五日(木) 中高連絡会
- 十六日(金) 進路講演会・三学年PTA
- 三十日(金) 〓期末考査



大隅湖を疾走するボート(男子シングルスカル)

サッカー―地区優勝 鹿屋市フェスティバル優勝  
硬式テニス―地区男子団体1位 同女子1位  
バスケット―地区男子優勝 同女子優勝

毎月発行するこの「三星の風」は、鹿屋高校のホームページにも掲載されています。  
<http://www.w12.synapse.ne.jp/kanoyakoukou/>